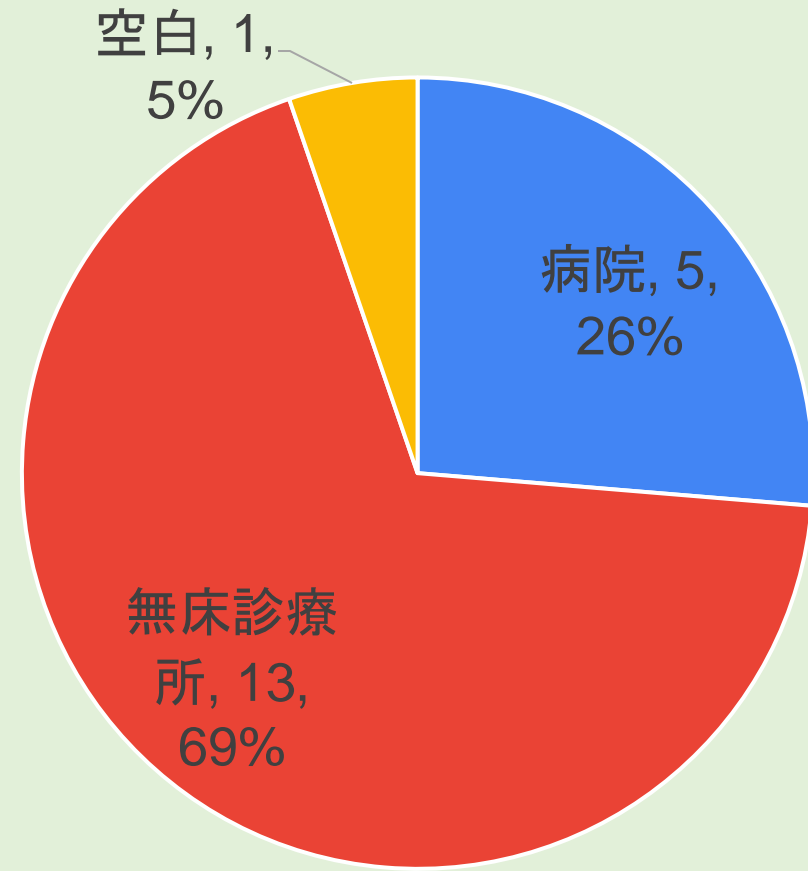


医者 MCSアンケート

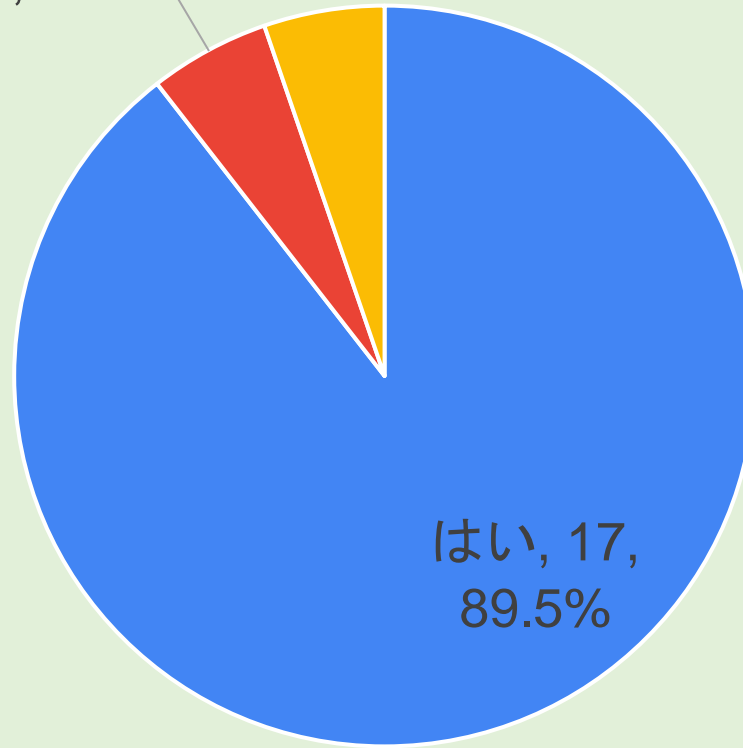
2024年11月29日までの集計
回答者数19人

Q1 主な所属 n=19



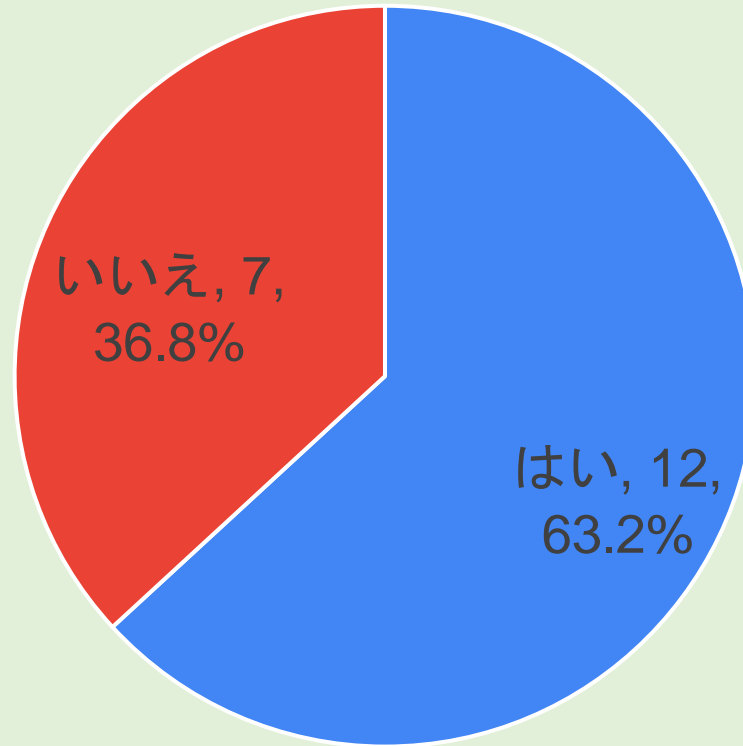
Q2 在宅診療をおこなっているか

いいえ, 1, 5.3% 空白, 1, 5.3%

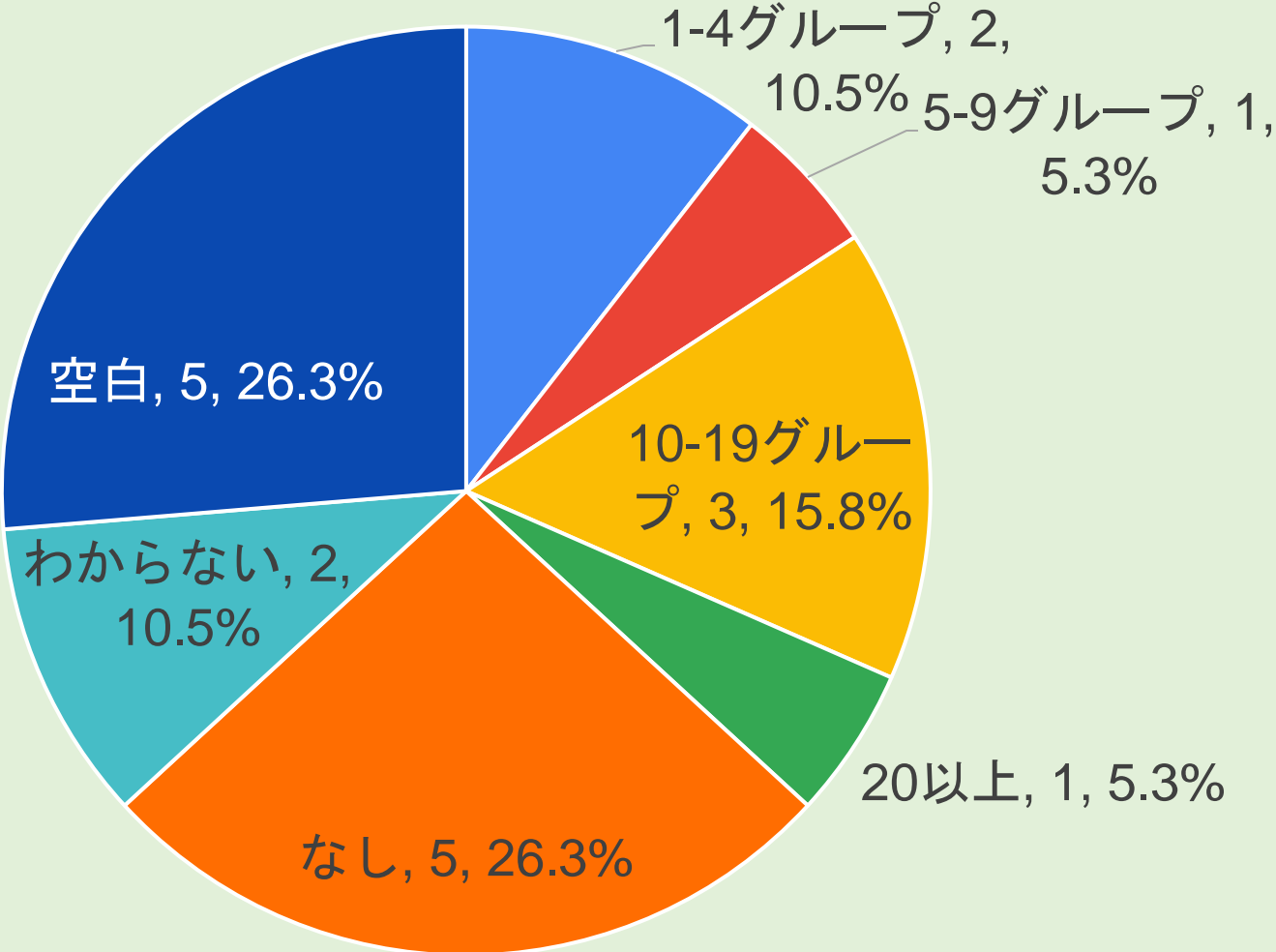


はい, 17,
89.5%

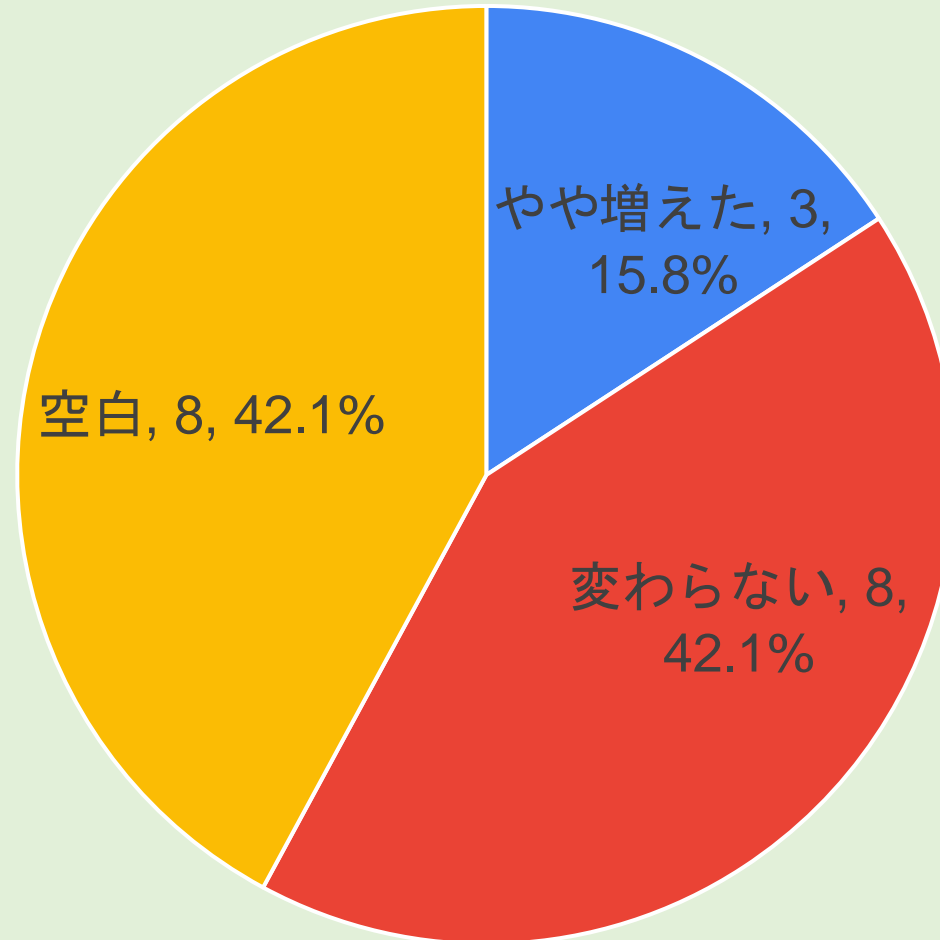
Q2: グループ作成権限拡大を知っているか



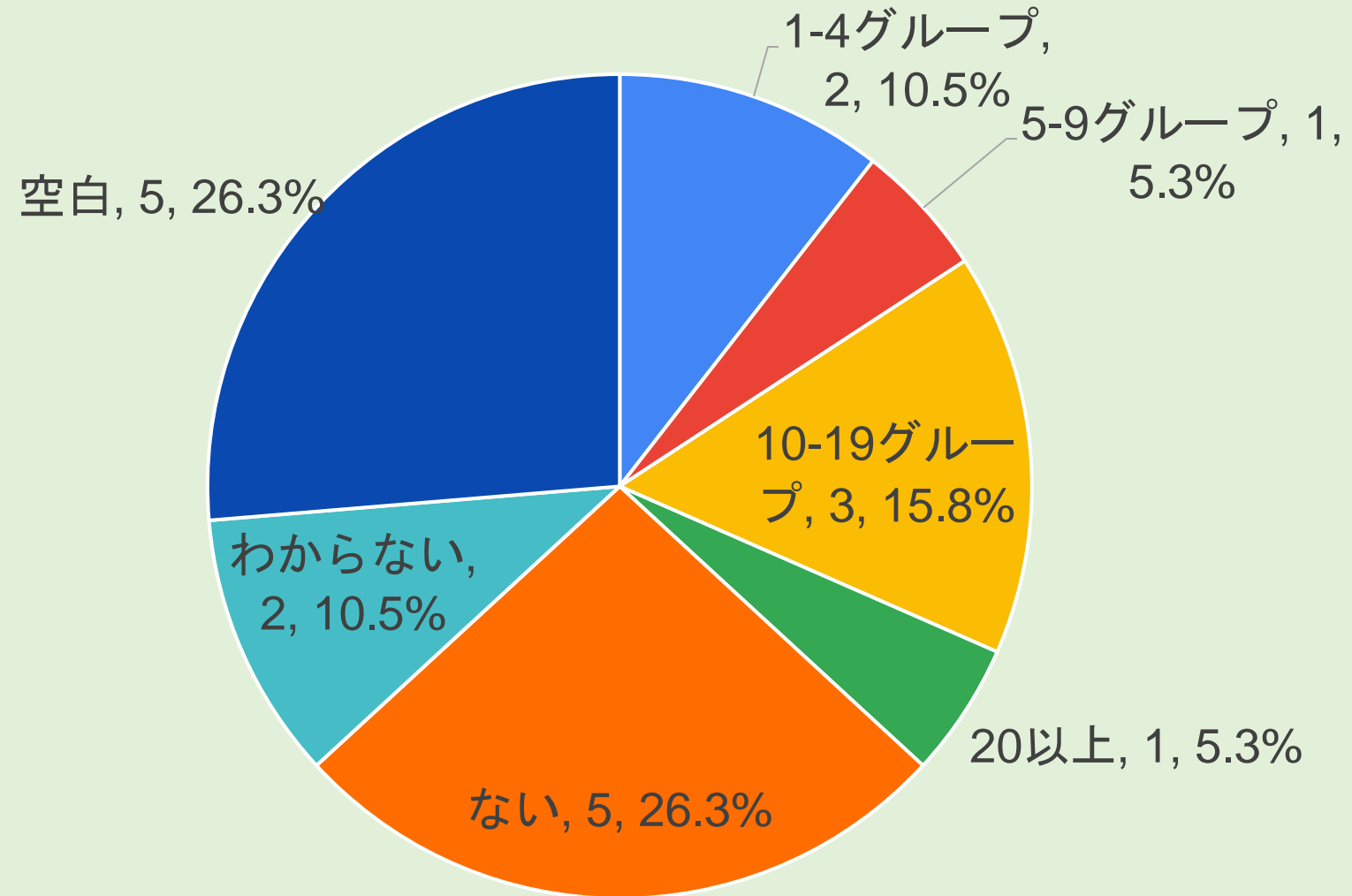
Q3: 権限拡大後、招待を受けたグループ数



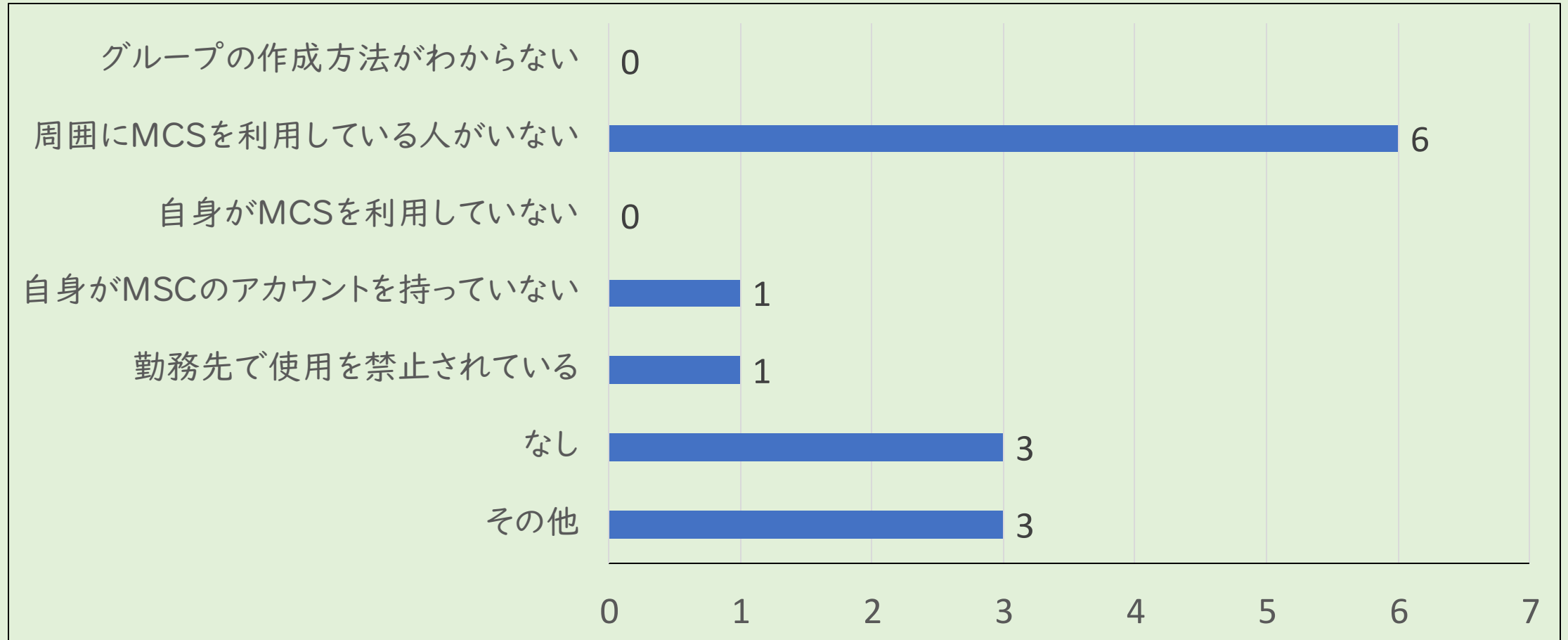
Q4 :MCSの利用頻度



Q5 : 参加グループ数



Q6 グループ作成で支障となること



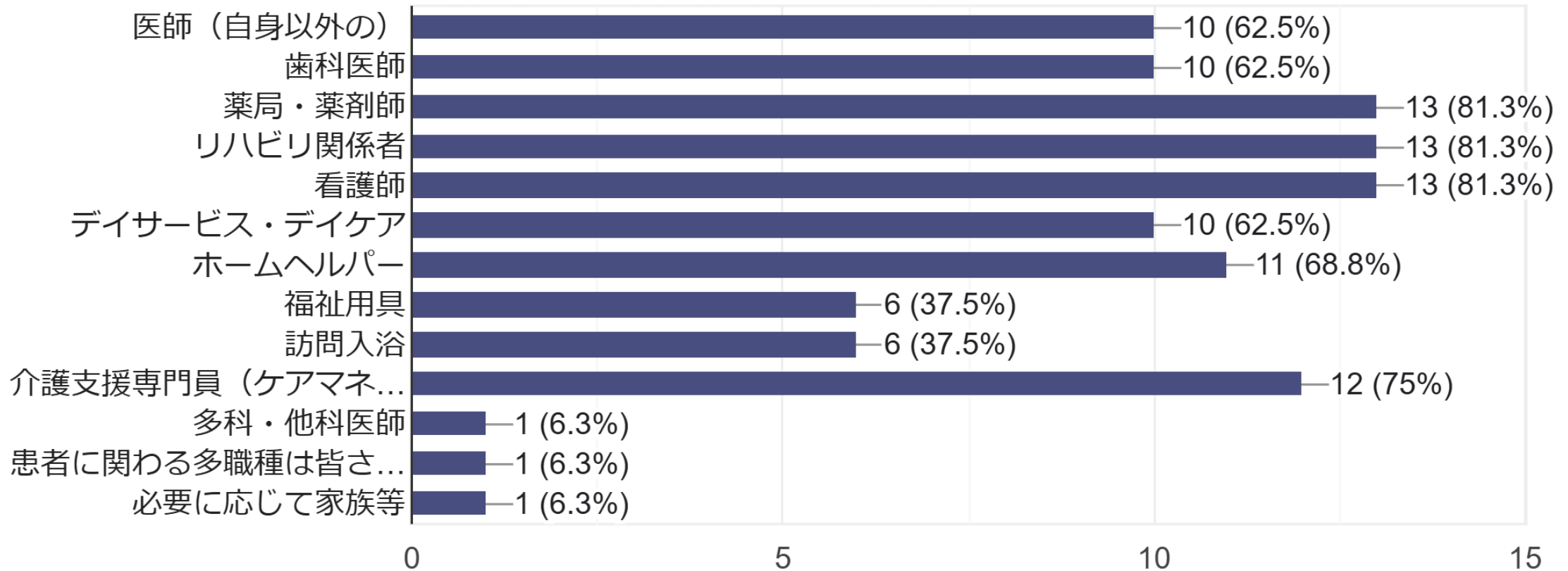
Q6:その他の意見 3人

- 患者に該当する多職種のほとんどがMCSをやっているが、ケアマネジャーだけやってない、などとなると情報の共有が難しい
- 職種によってはMCSを利用していない事業所がある
- 大量にいるスタッフを一々全員入れることが大変で(30人ぐらい)チーム制との相性が悪い

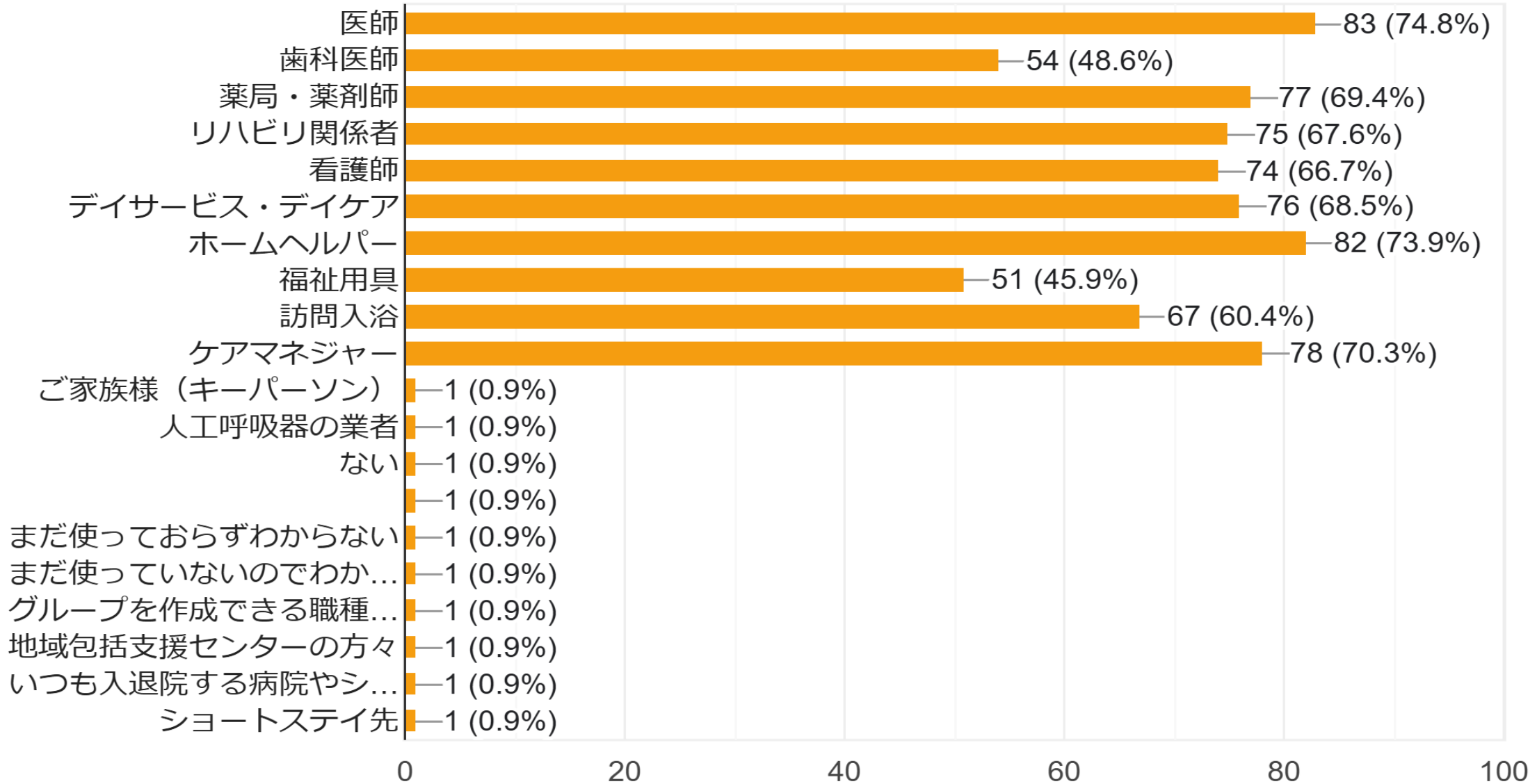
質問8

MCSでの情報共有を行う上で、グループに参加し...しい職種やサービスはありますか（複数回答可）

16件の回答



Q7 参加してほしい職種やサービス（複数回答）



Q8 自由意見 医師

- リアルタイムで患者の情報が得られる。
- "今回の対象が「在宅診療」となっていますが、用語としてはちょっと曖昧かと思います。在宅医療ですと、訪問診療と往診があります。私は眼科ですので訪問診療は基本的に行いませんが、往診は行います。また、今後在宅医と眼科や他科の専門医をMCSを通じて連携する仕組みの構築が考えられます。ですので、訪問診療を前提としたMCSの使い方だけではなく、往診も含めた広い意味での在宅医療を考えたアンケートにしていくべきかと思われまます。"
- "この地域で診療に従事するまでMCSの存在を知らなかったもので、現在とても助かっています。体感としてケアマネジャーの皆さんで利用されていない方が一定いらっしゃるのかなと思いました。その方に理由を聞くと、デジタル的なものは勝手が分からず難しい、職場で認められていない、などの声を聞きました。後者に関しては職場で認めてもらうしかないですが、前者はたしかにMCSに限らずDXに関して課題だなと感じています。私は使用感に困っていませんが、世代に関わらず使いやすいフォーマットだとより浸透するのかなと思いました。"
- LINEみたいなリアルタイムチャットができるようになると活用が増えるかもしれませんね。
- 利用者の体調の変化について早期の情報共有、対応ができる
- 他職種との情報共有ができる。
- 患者数が増えるとMCSの情報量も多くなり、対応に時間が少なからず取られること